

史跡「江田船山古墳」における整備について

1. 史跡の概要

名称	江田船山古墳 附塚坊主古墳・虚空蔵塚古墳
指定	史跡指定(昭和26年6月9日、 追加指定:昭和51年6月26日、昭和60年1月16日)
所在地	熊本県玉名郡和水町
管理団体	和水町
概要	江田船山古墳は、台地上に築かれた前方後円墳で南西に面し封土の総長約47メートルを有する。後円部の中央に口を西に開いた横口式石棺があり前面に短い羨道状の架構を備えている。また、石棺からは銘文をもつ銀象嵌大刀をはじめ、豊富な副葬品が出土している。

2. 保存管理の概要

「肥後古代の森」に所在する江田船山古墳においては、発掘調査で明らかとなった墳丘及び周溝の形状について、盛土によって若干の高まりを整備して平面的な形状を表現している。



手前から前方部、造出部、後円部 ※赤線は写真に加筆



説明板に表示された全体図